

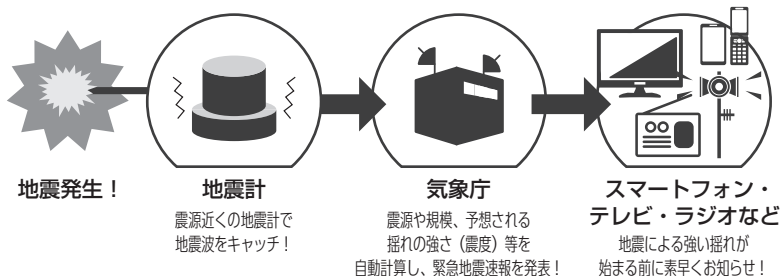
～緊急地震速報 あわてず、まず身の安全を!～

【緊急地震速報とは】

緊急地震速報とは、地震の発生直後に各地の強い揺れの到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。地震の強い揺れが到達するまでのわずかな時間を利用し、地震による被害を軽減するために気象庁が提供しています。

緊急地震速報は下の図のようなながれで、スマートフォンやテレビ、ラジオなどに報知音とともに伝えられます。

●緊急地震速報のながれ



(注意点)

- ・震源に近いところでは緊急地震速報が間に合わないことがあります。
- ・ごく短時間のデータだけを使った速報であることから、予測された震度に誤差を伴うことがあります。
- ・緊急地震速報の特性や限界、利用上の注意についてはこちらをご覧ください。

気象庁ホームページ

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/shikumi/tokusei.html>



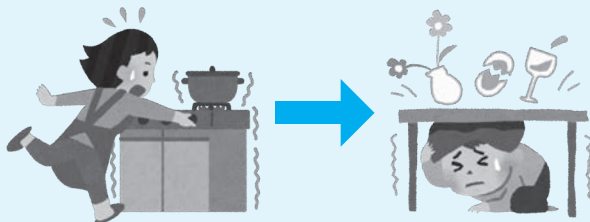
【緊急地震速報を見聞きしたときは】

緊急地震速報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間は数秒から長くても数十秒程度しかありません。そのため、緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

行動の具体例

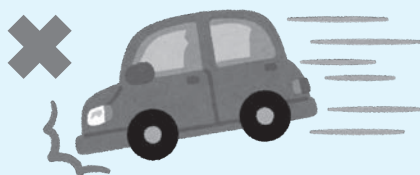
【屋内にいるとき】

- ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- ・あわてて外に飛び出さない。
- ・無理に火を消そうとしない。



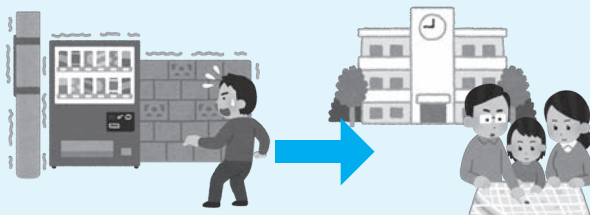
【自動車を運転しているとき】

- ・あわててスピードを落とさない。
- ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す。
- ・急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとす。
- ・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止する。



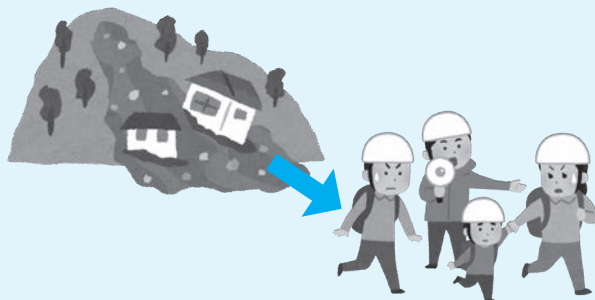
【屋外にいるとき】

- ・ブロック塀の倒壊等に注意する。
- ・壁やガラスがある場所から離れ、落下物から身を守る。
- ・丈夫な建物のそばであれば、建物の中に避難する。



【山やがけ付近にいるとき】

- ・落石やがけ崩れに注意し、できるだけ離れるようにする。



※周囲の状況により具体的な行動は異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。